

がん化学療法科 ニュースレター

ほほえみ 第66号



桜が咲くかと思う頃から、花冷えの4月が過ぎ、春から一気に初夏になりそうな5月となりました。診療体制が常勤医一人体制で、ご迷惑をおかけしている部分が多いかと思いますが、実感としては、やっと一か月が過ぎた(12分の1を終えた)という感覚です。なかなか、ゆっくりニュースレターを書くに暇がなく、何とか時間を見つけて書いています。インフルエンザの収束が長引いて、メディカル・カフェもお休みをいただいていたのですが、今からは行えるのではないかと考えています。

レトリック(修辞学)

レトリック(修辞学)というと、言葉遊びというか、難解であるというか、根本的な学問でない印象も、今日ではあるのですが、元々はリベラル・アーツの一つです。因みに、リベラル・アーツはローマ時代では、文法、論理学、修辞学、算数、幾何、天文、音楽でした。修辞学は言論を用いて人を説得するためには必須の教科であり、特に政治家にとって、重要な学問だったのです。修辞学を嫌ったのは、ソクラテス、プラトンのように思われますが、直ぐには修辞学は凋落せず、ローマ人には必須の教科であったのです。

アリストテレスは、修辞学という書物を書いています。修辞学の3つの要素というものを記しています。

logos	(言論)
pathos	(感情)
ethos	(人となり)

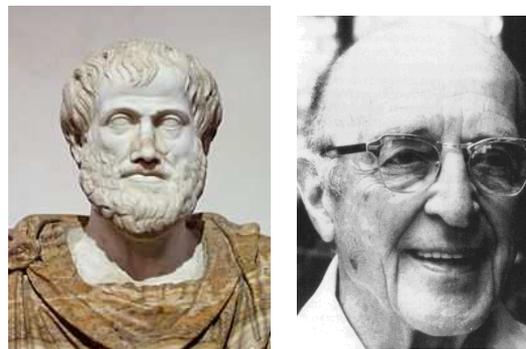
の3つが重要と言われています。個人的には、アリストテレスの弁論術を読む前に、カール・ロジャーズや、ユージン・ジェンドリンの著作の方を先に読んだ訳ですが、カウンセリングの大前提には、ロジャーズの中核要件というものがあります。ロジャーズの中核要件とは、カウンセリングの際が実効性のあるものとなるために、カウンセラーにとって満たすことが望ましい要件のことです。

一致
無条件の肯定的配慮
共感的理解

の3つです。これは、アリストテレスの指摘した、pathos, ethosの内容を足して3で割った感じです。

古代の修辞学は、近代のカウンセリングとも重複する部分があるというのは、広く心理学、教育学なども含むことでしょう。修辞学の内包する領域は、近代には細分化されます。心理学や社会学が、修辞学から分かれていき、残った修辞学は、言葉遊びのように受け取られるようになった・・・ということなのですね。

日本人は、本来の意味での修辞学は勉強しませんが、細分化した学問を突き詰めていくと、古代のリベラル・アーツや、哲学に集約されるということで、学び方の順番が間違っているのですね。



アリストテレスとカール・ロジャーズ

レスターのサッカーチームが優勝するなんて・・・

サッカーのプレミアリーグ(英国)で、岡崎慎司選手の所属するレスターが優勝しました。レスターというと、大学時代に、短期間ですが、医学部で研修を受けた所でもあり、個人的には大変懐かしいのですが、本当に小さな地方都市なのです。

レスターが優勝するのは、日本で言えば盛岡のチームがリーグ優勝したようなもので、本当に奇跡ですね。昔、レスターには、大きなデパートなんてなかったような気がします。マーケットやスーパー程度はありましたが・・・。

イギリスのちょっとした町には、大抵は博物館があって、エジプトのミイラ、お棺、副葬品などがあるのですが、その当時、レスターにはMRIはなかったかも。イギリスと日本では、町に備わっている機能は、全く異なりますね。



レスターのホームページから

ペロニカ・オックスフォードブルー

玄関先に植えた、ペロニカ・オックスフォードブルーが開花しました。鮮やかなブルーの小さな花が沢山咲いています。グランドカバー用の宿根草です。徐々に広がって、地面を覆ってさくようになれば・・・と思っています。

現時点では、ブルーのボーダーガーデンの部分のグランドカバーなのですが、宿根草はラテン名で流通しているものが多くて、性質を学ぶのが大変です。本を引きながら、植物の注文をしています。インターネットだと、英国の王立園芸協会のホームページが充実していますね。条件ごとに適した品種の選択が検索できます。また、5月はチェルシーのフラワーショーの月であることがわかりました。

<https://www.rhs.org/>



MEMO

5月のがん化学療法科の予定

5月3日	憲法記念日
5月4日	外来化学療法を行います
5月5日	こどもの日
5月6日	柴田教授外来
5月8日	母の日
5月13日	診療応援(島津先生)
5月20日	診療応援(福田先生) 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ(予定)
5月27日	診療応援(井上先生)



去年買った、カーネーションも冬越ししました